

フージャースコーポレーションは9月中旬から、千葉・津田沼エリアで総戸数107戸の分譲マンション「デュオヒルズ津田沼前原」の販売を開始する。クロス価格を抑えるため、専有面積のコンパクト化も市場の流れとして見受けられるなか、80㎡以上の広さの住戸を約4割用意するなど様々なニーズに対応できる物件に仕上げる。

同物件は、千葉県船橋市、新京成線前原駅徒歩8分、JR津田沼駅徒歩25分に立地。戸建てエリアの小高い丘に位置し、眼前に広がる眺望も特徴の物件だ。約5000㎡の敷地のうち、周囲を2カ所設ける。専有面積は70〜85㎡。6

千葉・津田沼で107戸 広さも訴求、80㎡台4割

フージャース「デュオヒルズ」

割が開口8m以上のワイドスパン設計。平均坪単価は134万円に設定し、最多価格帯は2900万円台と3400万円台。全体で2100万円台〜4000万円強とする計画だ。物件担当者は、「競合物件は70㎡台の広さがほとんど。広さを求めるユーザーの取り込みも意識した」と話す。

モダールームのプロデュースでコラボレーションしたアクタスの家具や照明は、実際の物件のエントランスホール部分で使用。また、ミキハウス子育て総研の「子育てにやさしいマンション」の認定も受ける予定だ。



小高い丘に立地する「デュオヒルズ津田沼前原」。エントランスの家具や照明でアクタスと提携